ボーリング柱状図

調　査　名　橋梁詳細設計業務委託

事業・工事名　平成29年度 主要地方道吉田豊栄線(戸島)交通安全施設整備事業

ボーリングNo											

シートNo

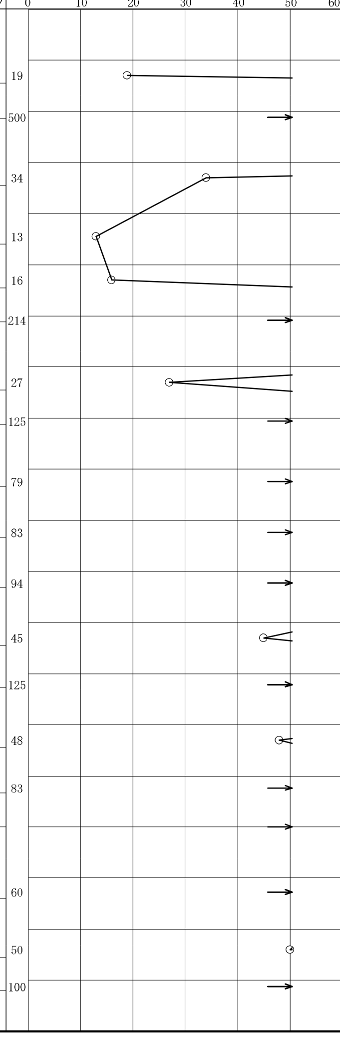
ボーリング名	Bor.3	調査位置	広島県安芸高田市向原町戸島地内	北緯	34° 37' 43.3"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成 29年 9月 7日 ～ 29年 9月 13日	東経	132° 42' 44.3"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	
				ボーリング責任者	
孔口標高	216.17m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	試錐機	D1-B(東邦地下)
総掘進長	19.00m	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	ハンマー落下用具	半自動落下
		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	エンジン	NFD-13(ヤンマー)
		使用機種		ポンプ	SP-48B(YBM)

標高(m)	層厚(m)	深度(m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
215.47	0.70	0.70	表土・砂質粘土	暗茶			耕作土。有機質な砂質粘土。
214.67	0.80	1.50	玉石混り砂質土	暗茶	中ぐらい		コア長L=5cm程度の硬質玉石点在。細粒分から粗砂まで適度に含み，粒度分布が良い。
214.02	0.65	2.15	砂礫	暗褐	非常に密な		層相は上位に似るが，玉石の混入はない。
212.07	1.95	4.10	玉石混じり粘土質砂礫	褐灰	密な		河床堆積物。コア長L=5～10cm程度の硬質玉石を混入。マトリックスは粗砂主体の混合砂と細粒分で占められる。
210.57	1.50	5.60	礫混じり粘土質砂	黄灰	中ぐらい		細～中砂主体の混合砂。細粒分を多く含み，一部中間土状を呈する。
200.57	10.00	15.60	玉石混じり砂礫	黄灰	中ぐらい～非常に密な		洪積世の玉石を含む砂礫層。玉石はコア長L=5～30cmの流紋岩硬質玉石主体。2～3個/m マトリックスは「粘土混じり砂」～「粘土質砂」。砂は中砂主体。指圧で圧砕される軟質礫混入。充填度は良好で土塊としての自立性は良い。礫は比較的新鮮な亜角礫～亜円礫が多く、円礫の小礫も認められる。
197.17	3.40	19.00	風化流紋岩	黄灰	非常に密な		基盤である流紋岩。新鮮部（風化残留核部）と岩組織は明瞭であるが芯部まで風化が進み土砂化した部分が認められる。DH～CL級，軟岩Iに区分

孔内水位(m)／測定月日: 9/7

標準貫入試験

深度(m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量(cm)	N値
1.15～1.45	4	7	8	19/30	19
2.10～2.13	50/3			50/3	500
3.15～3.45	15	10	9	34/30	34
4.30～4.60	7	4	2	13/30	13
5.15～5.45	5	5	6	16/30	16
6.05～6.12	50/7			50/7	214
7.15～7.45	12	8	7	27/30	27
8.00～8.12	35	15/2		50/12	125
9.15～9.34	20	30/9		50/19	79
10.15～10.33	17	33/8		50/18	83
11.15～11.31	29	21/6		50/16	94
12.15～12.45	10	15	20	45/30	45
13.15～13.27	10	40/2		50/12	125
14.15～14.45	10	15	23	48/30	48
15.15～15.33	29	21/8		50/18	83
16.00～16.00	貫入不能			50/0	
17.15～17.40	13	20	17/5	50/25	60
18.25～18.55	11	19	20	50/30	50
19.05～19.20	32	18/5		50/15	100



原位置試験: 深度(m) / 試験名および結果 — 記載なし

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験
3.15～3.45	P-1	⊖	物理
4.30～4.60	P-2	⊖	物理
5.15～5.45	P-3	⊖	物理
7.15～7.45	P-4	⊖	物理

掘進月日: 9/7（～2.15m）, 9/8（～6.0m）, 9/11（～10.0m）, 9/12（～15.0m）, 9/13（～19.0m）